

株式会社 杉田製作所

爪先ほどの小さな微細加工から
大きい筐体まで対応

納期相談
企画力自信有
コスト相談
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット
量産対応



完成まで責任を持つ担当者制を創業時から選択

業務内容

絞り加工や、
歪み抑制力で高い評価

モバイル端末の電子部品などに使う3mm角の小さな微細加工品から、大きなもので1500mm角程の筐体の加工まで請け負う精密板金メーカー。電機や検査機、船舶といった多様な業界向けの仕事を手がける。同業他社が敬遠する弱電部品に必要な絞り加工に柔軟対応するノウハウがあり、歪みを抑える技術や、±0・05mmの精度で加工する技術なども保有。顧客だけでなく、取引関係のある装置メーカーや同業他社も技術を高く評価し、顧客紹介も多い。杉田健一社長の「謙虚でPR下手」という性格を技術力がカバーし、近年では医療機器関連の仕事も増えている。

強み
難加工案件も
逃げずに曲げる

「加工業は同業者から『良い製品に仕上げてくれた』と評価をされることが最高のほめ言葉」と杉田社長は話す。精度の精密さだけでなく、歪みを無くすノウハウも強み。同業他社から「歪みだけとって欲しい」と頼まれることもある。また板金加工の世界では通常、曲げ加工が難しいものは、切断して溶接することが多い。だが、同社は「どんなに難しくても、逃げずに曲げる」が基本方針。特別な設備を用いるわけでもなく、標準仕様の加工機で経験と知恵をもとにアイデア



本社工場

人材育成

多能工化で不良発生を
抑え、短納期化も実現

以前同業他社が「先輩に甘えがなかった」ことを反面教師に、案件ごとに個々の技術者に図面を渡し、完成まで責任を持つ担当者制を創業時から選択する。製品不良や納期まで各人が責任を持つことで、一人一人がスキルアップできる環境を創出。意識変革で、技術力の底上げをしている。とはいうものの、個々の性格などで技術職には得意、不得意な仕事が発生する。このため、まんべんなく仕事を割り振ることで多能工化を促進。今後はそれぞれが製造コストに対する意識を高めるため、得意先との見積もりや連絡といった仕事までカバーしてもらう方針。

今後の展望
多様な業界で
顧客開拓を加速

以前に務めていた精密板金会社の廃業を機に、譲り受けた生産設備で、杉田社長が双子の弟や同僚らと一緒に独立した創業10年の若い会社。当初は以前の会社から引き継いだ関西の電機業界など顧客は10社程度だったが、リスクを勘案して業界に偏りのない新規顧客開拓を推進、今では50社程度に広がった。仕事の幅を広げるため、新型のレーザー加工機を導入して加工品の曲げた部分の切断も可能にし、業容を拡大。近年のトレンドである車載バッテリーのカバー類の板金加工の試作依頼の増加を受け、顧客層をさらに広げる考え。

COMPANY PROFILE

株式会社杉田製作所

大阪
26当社の
歴史

約20年間務めていた板金加工会社が廃業し、譲り受けた板金設備をもとに、同僚らとともに独立しました。独立してからの10年間の間でも、業界では板厚が薄くなり、強度を保つために絞り加工が増えるなど、時代に応じて顧客ニーズは常に変化しています。私たちはものづくりに満足は無いと考え、日々の研鑽を積んでいます。

どんな案件にも対応します。
ものづくり好きのプロ集団にお任せください。

代表取締役 杉田 健一さん



■主な事業内容

精密板金の試作から中量品まで

■主な取引先（納入先）

電機メーカー、医療機器メーカー、船舶メーカー、検査機器メーカー

住所／〒571-0051
門真市向島町8-5
TEL／06-6916-8246
FAX／06-6916-8226
創業／平成16年5月
設立／平成17年2月
資本金／1,000万円
従業員／8名